

織細さん必見！

会話のストレスから

解放される非言語

コミュニケーション①

コア学サロン 2021年11月

コア学流「非言語コミュニケーション」

のポイント！

今回はコア学流の「非言語コミュニケーションメソッド」がテーマです。

潜在意識の分野ですから、言語や顕在意識の話ではなく、非言語や潜在意識でコミュニケーションをとるとはどういうことかお話しします。

繊細さんと呼ばれる方や、自分のセンサーが敏感で感受性が豊かで高いゆえにコミュニケーションで疲れてしまったり、苦手意識を持ってしまうたりする方にも、非常にいい内容ではないかと思っておりますので楽しみにしててください。

まず、皆さんにお伝えしたいポイントが2つ

あります。

1つ目のポイントは「人はなぜコミュニケーションをとるのか」です。

このコアな部分が見えてくると、私たちがコミュニケーションをとらざるを得ない理由や、コミュニケーションに対する苦手意識を取り払った方がいい理由も同時に見えてきます。

2つ目のポイントは「非言語コミュニケーションは一体どんな役割を果たしているのか」です。

非言語コミュニケーションとは、空気感だったり雰囲気だったり、言語以外のもので放っている何かです。言語以外の何かでコミュニ

ケーションを取ること、非言語コミュニケーションを取るところでは言います。

少し範囲は広いのですが、非言語コミュニケーションとは、人との繋がりにどういう効果や役割を果たしているのかお話ししていきます。

人はなぜコミュニケーションをとるのか

まずはポイントの1つ目。「人はなぜコミュニケーションをとるのか」というコアな部分ですが、これはいろんなレベルでの解釈があ

ります。

皆さんは「人はなぜコミュニケーションをとるのか」と聞かれた時、何と答えますか？

繋がるためとか、関係性をつくるためとか、意思疎通をするためとか、そういうイメージがあるかと思います。

少し大きな話をしますが、原始的な時代までさかのぼると、コミュニケーション自体は存在していましたが、言語コミュニケーションは存在していませんでした。

だから、言語コミュニケーションも非言語コミュニケーションもこみこみで考えていきますが、なぜコミュニケーションするのか、い

ろんなイメージが出てきますね。

表面的には「〇〇のため」「△△のため」と考えますが、コミュニケーションのコアな部分の目的を端的に言うと、生きるためです。

なぜ生きるためにコミュニケーションが必要かということ、仕組みは解明されていませんが、木とか花とか植物たちも独自の方法でコミュニケーションを取り合っていることがわかっていきます。

もちろんしゃべりませんが、コミュニケーションを取り合っています。動物達も人間も、コミュニケーションを取り合う根本は、生きるためです。

生きるために、なぜコミュニケーションが必要なのか、考えてみて欲しいんです。

少し回りくどく思われるかもしれませんが、これが非言語コミュニケーションの重要な話です。

これはコミュニケーションが楽になっていく大切な考えになるので、一緒に考えていきたいと思っています。

話を戻すと、私たちは生きるためにコミュニケーションをしています。では、なぜ生きるためにコミュニケーションが必要なのか考えていくと、面白く見えてくるんですね。

コミュニケーションがないと生きていけない

理由はなんだと思いますか？今の時代を見てみてください。

生きるためにコミュニケーションが必要と言っても、本当に必要かな？と思われる時代ではありませんか？

コミュニケーション取らなくてもコンビニでご飯を買えるし、お金があれば買い物できるし、なんでも手に入る時代ですよ。

実はコアから離れているコミュニケーションは、すごく多いです。生きるためにコミュニケーションをしているのに、生きるためになっていないコミュニケーションをたくさんしているのが、今の時代です。